

住宅街 道路に出てきた！ 女兒、車とぶつかりけが 女性、そのまま走り去る…ひき逃げ容疑

2016年03月25日 08:10

24日午後6時、山形県で近くの女兒(5)が車とぶつかり転倒し、両足首を打撲する軽いけが。車を運転していた女は女兒に声を掛けた後、現場から走り去ったため、警察はひき逃げ容疑で捜査。友人3人と遊んでいた女兒が道路に出た際、右から来た車とぶつかった。女は「大丈夫？」などと声を掛け、そのまま直進して走り去ったという。帰宅した女兒から話を聞いた家族が110番通報した。住宅地で、歩道のない直線道路。

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 車間距離 ⇒ 前車から4秒間
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

まさか！…のことが起こらないように、
車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう

整備不良 大型トラックからスペアタイヤ脱落 トンネル内で、スペアタイヤが高速バスに衝突、幸いけが人はいなかった

◆運行前点検を確実に行いましょう◆

◇スペアタイヤの留め金損傷、タイヤ、ハブボルト、ホイール◇

2016年3月24日(木)12時5分

24日午前5時40分、秋田県の東北縦貫自動車道のトンネルを走行していた大型トラックからスペアタイヤが脱落し後続の高速バスに衝突。バスの前部が壊れたが乗客18人と乗務員2人にけがはなかった。高速隊は道交法違反(整備不良)の疑いでトラックを運転していた札幌市の40代男性から事情を聴いている

交差点 左折の大型トラックに巻き込まれ 自転車の男性死亡

2016年3月24日(木)14時51分

24日午前11時5分ごろ、大阪府の国道の交差点で、自転車で横断歩道を渡っていた男性が、左折してきた大型トラックに巻き込まれた。自転車の男性は現場で死亡が確認された。警察は自動車運転処罰法違反(過失致死)の疑いで、トラックを運転していた会社員の男性容疑者(42)を現行犯逮捕した。「左折したときに自転車と衝突する交通事故を起こしてしまった」と容疑を認めている。

信号機ない交差点 自転車の女性、右折車にはねられ死亡

2016年3月24日(木)23時49分

23日午後6時40分ごろ、埼玉県の市道で、無職の女性(76)の自転車が乗用車にはねられ死亡した。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、乗用車を運転していた会社員(47)を現行犯逮捕した。現場は信号機のない交差点。乗用車が右折した際、対向から来た自転車と衝突した。

北海道新幹線が開業

津軽海峡越え本州直結—東京から新函館北斗4時間

◆当社でも、建設機械・仮設資材の搬入、搬出を行いました◆

◆多くの物流業者が、北海道新幹線の建設にかかわって、開業につながっています◆

2016年3月26日(土)7時3分

北海道新幹線(新青森—新函館北斗、約149キロ)が26日、開業した。津軽海峡を越え北海道から本州、九州まで初めて新幹線につながる。東海道新幹線開業から半世紀余り。日本の高速鉄道網に新たな歴史が刻まれた。沿線各駅では記念式典が開かれ、一番列車が走りだした。北海道新幹線は、海底トンネルとして世界最長の青函トンネル(約54キロ)を走行し、一部区間で貨物列車とレールを共用する。北海道側の始発駅となる新函館北斗駅(北海道北斗市)での式典には、石井啓一国土交通相やJR北海道の島田修社長、高橋はるみ道知事らが出席。午前6時半すぎ、上り一番列車「はやぶさ10号」が東京に向かって出発した。新青森駅(青森市)からは下り一番列車の「はやて91号」が新函館北斗駅に向かった。東京駅でもJR東日本の富田哲郎社長が、新函館北斗駅に向かう一番列車「はやぶさ1号」を見送った。東北新幹線との相互乗り入れにより、東京や仙台から乗り換えなしで北海道に渡れる。北海道新幹線は、1973年(昭和48年)に整備計画が決定され、今回の開業区間は2005年に着工し、総工事費は5500億円(試算)。2030年度末までにはさらに1兆6700億円(同)をかけて札幌市への延伸も予定されている。

IS(過激化組織「イスラム国」)、日本人も攻撃対象と 東アジアの安全保障脅かす 防衛研究所

2016/03/25 18:07

防衛省のシンクタンク防衛研究所は25日付で、日本周辺の安全保障環境を分析した年次報告書「東アジア戦略概観2016」を公表した。過激派組織「イスラム国」(IS)の脅威が拡散し「日本を含む東アジアの安全保障を脅かしている」と指摘。イスラム教徒が多い国などで、日本人が攻撃対象になる可能性に触れた。同書がISの脅威に言及するのは初めて。2015年1月に表面化した2邦人人質事件などを踏まえ「ISは日本敵視を続けている。IS同調者による犯行が今後起きる可能性は否定できない」と警告した。